

時計を通して日本文化を見つめ直すきっかけをつくる

●活動内容

時計の組み立て講座を開催。時計の組み立て体験の機会を提供するとともに、時計にまつわる歴史について参加者に伝えている。また、近年珍しくなりつつあるゼンマイ時計の展示会やバザーの開催によって、時計の文化を広く普及。そのほかにも、江戸から明治時代までに作られた日本独自の時計「和時計」の修復も担っている。今後は動かなくなったゼンマイ仕掛けの時計塔の修復にも取り組み、人々の地域への愛着につなげたいとのこと。

●活動の背景、活動への思い

国立科学博物館の資料作りや調査を担う古時計収集家の豊富な知識や、時計をテーマとして社会を見つめた際に得られる多くの学びを、一部の収集家だけでなく広く社会に伝えたいとの思いで団体を設立。時計づくりは江戸時代から名古屋で盛んであり、その土地の文化が根付いた「地場産業」である。日本産業の低迷打破のためには「地場産業」への回帰が必要との思いから、時計を通して人々の日本文化への関心を取り戻すことを目指し活動している。

募集中!

不要となったゼンマイ式古時計の寄付を募集中。提供された古時計は、同団体がきれいにして、展示会などに出品。「団体の活動の思いを社会に広く伝えるため、その手助けとなる時計をぜひ提供してほしい」と呼びかけている。



概要

- 法人認証年月日 / 2009年5月15日
- 主な活動分野 / 科学技術
- 従たる活動分野 / 学術・文化・芸術・スポーツ

→連絡先

〒453-0828 名古屋市中村区中村本町4-27-2

TEL 052-482-5071 平日

FAX 052-482-5071

E-mail takuro@naluse.co.jp

URL <http://www.kandabako.info/~tkbunka/>

大学のバイオ研究とモノづくりをマッチング

活動内容

バイオテクノロジーに関する産学官連携ネットワークを構築。3つの分科会を通して、行政の事業、大学の研究、企業のものづくりのマッチングを図り、産業の創出を支援する。分科会は、健康食品や化粧品の新規原料開発を手がける『食品・機能性素材分科会』、バイオマス燃料や水質・土壌の浄化、有機肥料などを研究する『環境分科会』、バイオを活用した『医療機器分科会』があり、これまで産学連携で100件近くの事業を創出した。

活動の背景、活動への思い

1986年に産学共同で設立した『バイオインダストリー振興懇談会』が母体。2003年、「産業クラスター計画」(経済産業省)に沿って、東海地方のバイオ関連産業を創出する目的でNPO法人化した。以来、産学官の連携を取り持つ中間支援組織として活動。同団体の会員企業は製造業のみならず、流通・サービス業などの川下産業にも及んでおり、広域なネットワークを駆使して、科学技術の振興、地域産業の活性化、雇用の創出を目指す。

募集中!

バイオに関するものづくり・研究開発などで起業したいと考えている人は、同団体に問い合わせの上、まずは個人会員になってみては。同団体では、30名の登録アドバイザーが会員のニーズと大学などの研究活動とのマッチングを図り、起業・事業化を支援してくれる。



概要

法人認証年月日 / 2003年10月2日
 主な活動分野 / 科学技術
 従たる活動分野 / 保健・医療・福祉、環境保全

→ 連絡先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町
 名古屋大学インキュベーション施設1F

TEL 052-747-6388 9:00 ~ 17:00

FAX 052-788-6002

E-mail support@bioface.or.jp

URL http://www.bioface.or.jp